

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度佐渡市両津クリーンセンター公害防止協議会
開催日時	令和元年7月2日(火) 午後1時50分開会 午後2時50分閉会
場所	両津クリーンセンター 1階休憩室
議題	(1) 平成30年度両津クリーンセンターの受入状況について (2) 平成30年度周辺土壌ダイオキシン類の測定結果について (3) 両津クリーンセンター煙突・雨水調整池解体工事について (4) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	参加者 関係集落 3名 環境対策課 課長 計良 朋尚 両津支所 支所長 伊藤 賢治 事務局 環境対策課 課長補佐 谷地 喜文 環境対策課施設管理係 係長 中川 祐亮 " 主事 高橋 豊
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
計良課長 高橋主事	開会の挨拶 (1) 平成30年度両津クリーンセンターの受入状況について ・両津クリーンセンターの受入状況について、会議資料の2ページにより説明する。 ・直近の過去4年間では、中継施設となってからごみの年間総搬入量全体では、10%の減少となっている。下段のグラフは、平成30年度のごみの種類別の割合を示した表となっている。 ・両津クリーンセンターに持ち込まれるごみの内、可燃ごみが79%、

参加者	<p>次いで粗大ごみの12%、不燃ごみの7%、資源ごみの2%の順で、ほぼ昨年同様のごみ比率の状況となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市全体の搬入量は、同じごみの種別で約2万t、その内87%が可燃ごみとなっている。そのほかの種別（粗大、不燃、資源）については、3～4%程度の比率となっている。 ・平成16年度から平成26年度で、ごみの搬入量が半減しているが、なぜか。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・合併以降ごみの有料化、分別化、レジ袋ゼロ、ごみの減量化の影響及び人口減等が相まってごみの減少につながったと思われる。 ・以上で市の報告は了承されたものとする。
高橋主事	<p>(2) 平成30年度周辺土壌のダイオキシン類の測定結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の3ページにより説明する。 ・平成29年度の公害防止協議会において、ダイオキシン類測定は両津クリーンセンター周辺の基本点1箇所の測定という承認を得て、昨年は11月21日に測定を実施した。 ・測定結果は、14 pg-TEQ /g となっており、環境省のダイオキシン類による土壌の汚染にかかる環境基準「1000pg-TEQ/g 以下」を大きく下回っている結果となっている。 ・4ページは、ダイオキシン類の計量証明書であり、表中の毒性当量のところが測定結果14 pg-TEQ /g となっている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオキシン類測定の数値は、クリーンセンター稼動前と現在で変動はあるか。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・建設前に調査をしており、その数値に大きな変動はなく、両津クリーンセンターの稼動に伴う影響は確認できない。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・全体は低いですが、その中でも住吉が一番高いが。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの土地利用の積み重ねで、野焼き等の際、低温で燃焼するとその影響でダイオキシン類の発生があり頻繁に行っている場合は高めになる。また、何もしていない土地では、もっと低い値になる。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・どの地点で測定しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・測定位置の図面を提示する。

計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で市の報告は了承されたものとする。
中川係長	<p>(3) 両津クリーンセンター煙突・雨水調整池解体工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5、6ページにより説明する。 ・今年度、来年度と2か年で、両津クリーンセンターの煙突と雨水調整池の解体工事を行う予定で、工事平面図の青色網掛け部分の解体を計画している。 ・煙突は鉄筋コンクリート造りの高さ59mの構造物、雨水調整池は遮水シート張りの容積658 m³の調整池である。 ・解体工事に伴うスケジュールは、8月中旬に工事入札を発注し、9月議会で請負契約締結が承認された後、早ければ10月から着手になる。工事期間は、360日おおよそ1年間となる。 ・工事は、先行して雨水調整池の撤去から始める。それと同時に煙突から建物に向かって煙道という筒が2本あり、煙道を解体しその後、煙突本体の解体工事に入る工程になる。 ・調整池の水は、現在も溜まった状態になっており、ポンプアップして両津クリーンセンターを出たところの排水路に流す予定で、排水路の管理をしている両津土地改良区と現在調整中である。 ・煙突の解体工事については、設計の段階でアスベストの含有調査(煙道、煙突外壁の2か所)をしたが、2か所ともアスベストの含有はなかった。 ・ダイオキシン類については、大気の測定を工事前、工事中、工事後と合計10回ほど、土壌調査についても解体前、解体後の2回行う。併せて、騒音と振動調査についても、解体前、解体中で5回行う計画である。 ・解体工事期間中もごみの持込みは通常どおり行う。ごみの持込み車両と工事車両の誘導について、常時誘導員を配置し事故の無いよう進める。ご協力をお願いします。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の件について、回覧等でお知らせするか。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・入札後、議会で議決を得れば、お知らせする。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の説明会はあるか。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ頃がよろしいか。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・工事が始まる前に説明会があったほうが良い。

計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに対応したいと考えている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の住民もアスベスト、ダイオキシン類等について心配している方もいると思う。委員が説明するよりも市から説明していただく方が良いと思う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水の中にダイオキシン類が含まれているかどうか、一般の方は心配すると思うが、排水が差支えない量で問題なければいいのだが。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・排水については、水利組合に相談しているので問題はないと思うが、適正な方法で実施してもらえれば良いと思う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・調整池の水は、ダイオキシン類が含まれている水か。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、施設は稼動していないので、雨水しかない。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に入札すると今月中に説明会をしないと間に合わない。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事後の排水はどうか。
中川係長	<ul style="list-style-type: none"> ・調整池解体後の建屋及び構内の雨水については、浸透枡を設けて地下浸透させる予定である。建屋の樋から下がったところ 12 箇所と構内の外側 16 箇所に枡を設置予定である。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホームで、3 地区が集まるような形で説明会を開いていただければ良いと思う。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・3 地区を対象に説明会の日程等を段取りしてお知らせする。 ・以上で市の報告は了承されたものとする。
中川係長	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境対策課で、今後の廃棄物処理施設の整備計画を検討している。 ・全体計画の中で両津クリーンセンターについては、ごみの量が年々減少傾向にあることや借地契約が平成 36 年度で切れることを踏まえ、平成 36 年度末には解体工事まで終了して平成 37 年度から借地の方も解消することを検討している。 ・平成 36 年度末に借地を返納するとなると、解体工事におおむね 2 年間必要となることから、ごみの受入れは平成 34 年度で廃止して、平成 35、36 年度と解体工事に入ることを検討している。

計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の対応について、今後の方向性を提示していきたいと考えている。 ・ごみ処理施設として廃止している状況であること、土地の借地契約の期限もあり、地権者へ速やかに返納することから、中継施設の受入れは平成34年度で廃止することをご理解いただきたいと考えている。 ・両津クリーンセンターが中継施設として継続できれば一番良いが、今後、ごみの持込みは佐渡クリーンセンターへ直接搬入してもらう方向で進めていきたいと考えている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・中継施設がなくなると不法投棄等が往行するようになるかと思うが、施設の規模が小さくても受入れが可能な中継施設があると良いと思う。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的には、ステーション回収が主流なので出来るだけごみ収集カレンダーに合わせて身近なステーションをご利用願いたい。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーション回収をされているのは分っているが、なかなか間に合わない方がここへ持ち込んでいる状況かと思う。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・明日からすぐに止めるという訳にはいかない。解体工事の進捗と合わせて、中継施設のごみの受入れは廃止することをご理解いただきたい。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・できれば中継施設があると便利が良いが、島内は両津ばかりでなく、小木（南佐渡クリーンセンター）はどうなっているか。稼動しているのは佐渡クリーンセンターだけか。
計良課長	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡クリーンセンターだけである。これから小木についても両津と歩調を合わせて、中継施設を廃止する予定である。 ・直接持ち込まなければならないごみがある場合は、佐和田まで持ち込んでいただく。 ・土地の賃借をしている期間は、ごみ処理施設として稼動しているのが本来の目的で、施設が廃止したということと、今後施設が壊れた場合は直さなければならない状況を踏まえると、中継施設を中止させて、その中で特段何かあればご相談させてほしい。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・燃えるごみ等は週に2回あるが、粗大ごみを結構持ち込んでいる方が多いと思うが。

計良課長	<ul style="list-style-type: none">・一般廃棄物収集運搬許可業者をご利用願いたい。民間の業として有料でやっている業者があり、その処分料が市の条例以上の料金をとることはない。・積極的に業者を使いつつ、行政とのバランスをとりながら、極端にサービスの質を低下させる訳にはいかないなので、一定の年限を見据えた中で、施設の運用を検討していきたいと考えている。・また、粗大ごみの取扱いを見直し、現在1点500円の処理券を貼ってステーションに出しているが、施設に直接持ち込んだ場合は従量制にして何kgで何円という要望も出ているので、今後検討していく。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・了解した。
伊藤支所長	閉会の挨拶